

開校準備協議会だより

8月26日に開催された第5回東中学校区統合小学校開校準備協議会では、統合小学校の校名案を「東小学校」とすることを決定し、市長へ推薦することとしました。また教育委員会からは統合小学校の基本設計が示され、具体的な新校舎の姿が見えてきました。

統合小学校の校名案は「東小学校」

地域の皆様、校名案募集の際はご協力をいただき、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

7月14日から8月4日まで、東中学校区の全世帯を対象に校名案の募集を行い、結果は「東小学校」が全体の約半数を占め、次に多かったのが「五十公野小学校」で「あやめ小学校」が続きました。「東小学校」については、中学校と同じ校名が分かりやすくなり、なじみもある、中学校統合時と同じ経緯による統合なので同名がよいなどのご意見をいただきました。

皆様から応募いただいた案を参考にして協議会で検討した結果、統合校の校名案を「東小学校」として、市長に推薦することといたしました。

【校名案募集結果】 応募総数 329 票 (応募用紙配布総数 3021 票)

| 校名案 (上位3案) | | 応募数 | | | |
|---------------|-----------|-------|------|----|----|
| | | 地区別内訳 | | | |
| | | 松浦 | 五十公野 | 米倉 | 赤谷 |
| 東小学校 | 157(約48%) | 49 | 58 | 46 | 4 |
| 五十公野小学校 | 56(約17%) | 6 | 48 | 2 | 0 |
| あやめ小学校 | 14(約4%) | 1 | 7 | 6 | 0 |

※ 地区別応募総数は 松浦 75 票、五十公野 170 票、米倉 72 票、赤谷 12 でした。

上記3点のほか64点の応募があり、その中で多かったものは、「常盤(ときわ)」が漢字、平仮名表記で合わせて14票、「四葉」が同様に11票の応募がありました。また、「東」、「五十公野」、「常盤」、「あやめ」を漢字や仮名表記で組み合わせた「五十公野東」や「あやめ東」なども複数の応募がありました。

◎ 統合校建設の予定

統合小学校建設に当たり、夏休み中に五十公野小学校校舎付近で埋蔵文化財の事前確認調査を行った結果、室町時代の建物跡と思われる遺構や遺物が出土し、来年度校舎解体後、全面発掘調査を行うことになりました。このため新校舎建設の着手が28年度となり、統合校の開校は平成30年4月を予定することとなりました。

現在五十公野小グラウンドでは仮設校舎の建設が進められております。来年2月に完成し3月には引っ越しを行い、同校の児童は27年度から仮設校舎で学びます。

今後のスケジュール

| | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
|-------|---------|------|------|------|-------|
| 仮設校舎 | (建設) | | (使用) | | |
| 旧校舎解体 | | (上屋) | (基礎) | | |
| 遺跡調査 | | | | | |
| 校舎建設 | | | | | |
| 給食調理場 | (設計、建設) | | | | |
| 閉校・開校 | 赤谷小閉校 | | | | 統合校開校 |

五十公野小学校での埋蔵文化財の事前確認調査の様子

※ 五十公野小学校の敷地は、戦国期の五十公野氏館跡と考えられています。



プールわきでの発掘作業



中庭で発見された土坑群(建物の柱穴など)



出土した室町時代(15世紀)の陶磁器
(越前焼のかめ、中国製の白磁皿など)

問い合わせ先

〒959-2323 新発田市乙次281番地2

事務局(教育委員会 教育総務課) 担当 平田

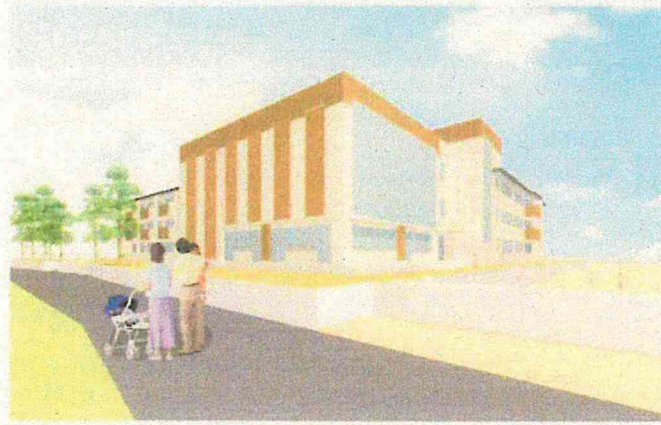
電話 22-9531 内線 2255

統合小学校の基本設計が示されました。

完成予想図



① 南東側からのイメージ



② 南西側からのイメージ

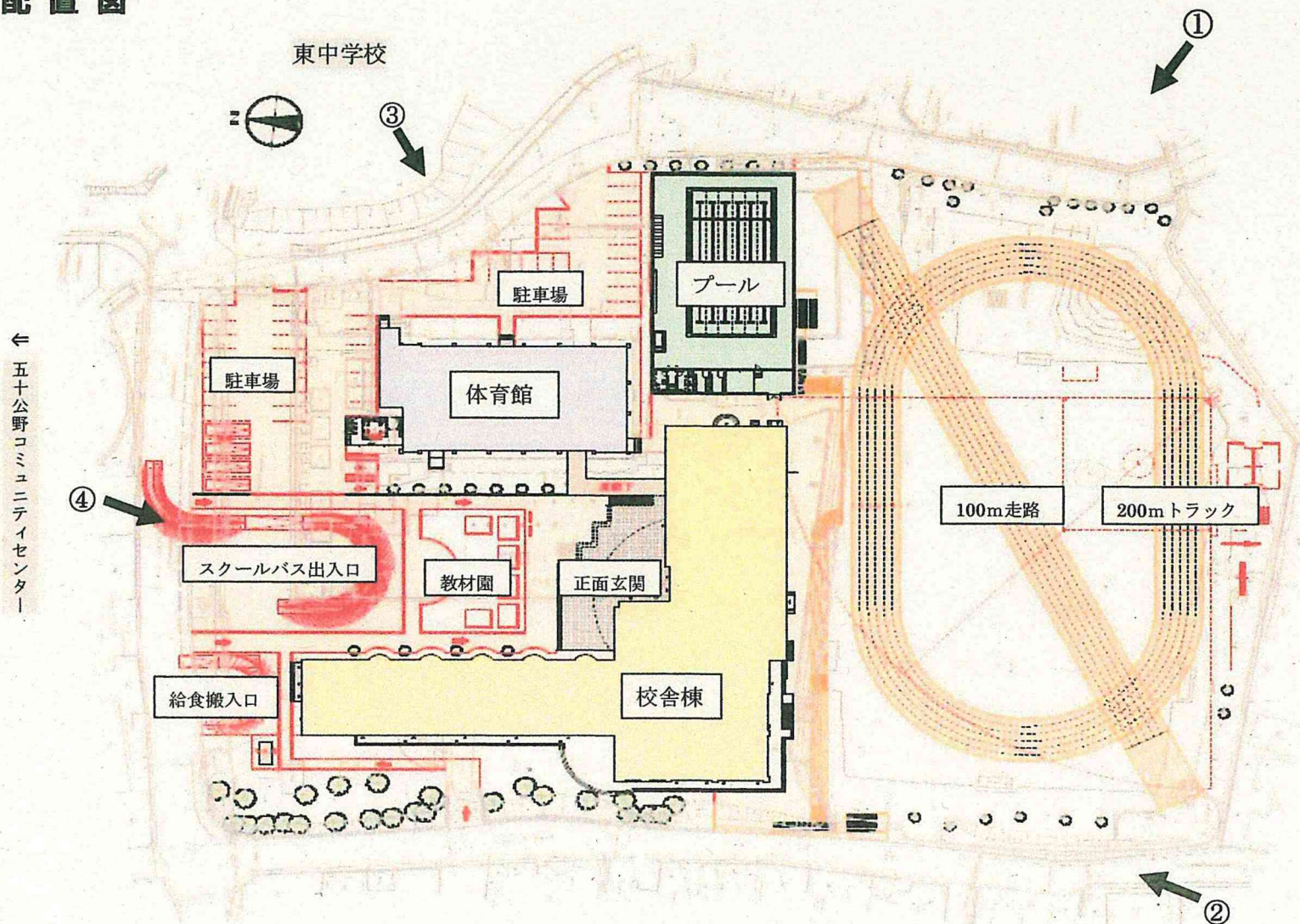


③ 北東側からのイメージ



④ 北側正面からのイメージ

配置図



統合小学校の建設について

- ◎ 現五十公野小学校敷地に統合校を建設
 五十公野小学校はグラウンドに建設した仮設校舎に移り、現校舎は上屋を解体します。その後遺跡の発掘調査を行った後、基礎の解体を行い、2年間で新校舎を建設します。
 なお、同校体育館は耐震改修工事が完了しており、統合後もそのまま使用します。

- ◎ 統合校の構造
 校舎； 鉄筋コンクリート造 3階建て
 プール； 25m×6コース
 グラウンド； 100m 直線走路と 200mトラック

統合小学校の基本設計を進めるに当たり、協議会では安全・安心、交通環境、敷地の有効活用、機能性、情操教育、小中連携、地域に開かれた学校、歴史の継承などの視点から、意見を述べてきました。

この度示された基本設計では、これまで出された意見が反映されており、豊かな人間性を育む文化的な環境としての学校施設となることを期待しています。

これから年度末までに実施設計が行われ建物内外の細かな内容が決まりますが、ここでも安全・安心、歴史の継承、バリアフリー、省エネ・エコ、デザイン性、木質の多用、快適で機能的な設備など、協議会が求めてきたことに配慮されることを期待しています。